



つながる つたえる のびる
高ヶ坂小学校

HP : <http://www.machida-tky.ed.jp/e-kougasaka/>

2025年3月25日
町田市立高ヶ坂小学校
校長 岩崎 直美
学校だより 年度末号

2024 年度修了式の日

校長 岩崎 直美

3月24日(月)、第47回卒業式があり、59名の6年生が本校を卒業していきました。5年生は在校生代表として式に参加し、態度、リコーダーの演奏ともにとっても素晴らしかったです。最上級生としてのバトンをしっかりと引き継ぎました。

そして本日、25日(火)は修了式を行いました。最初に「修了証授与」をしました。1年1組から5年2組まで学級代表の10名が登壇し、一人ずつ修了証を受け取りました。その際、その学級の子どもたちも起立して一緒に礼をしました。次に校長から子どもたちに話をしました。内容は以下の通りです。

先ほど、代表の人に修了証を渡しました。これは、「あなたは、この一年間、勉強や運動をよく頑張ったので、今の学年を終えて次の学年に進んでください。」という意味になります。あとで、担任の先生から通知表をいただきますから、最後にある修了証もしっかり見てください。

さあ、皆さん、200日あった一年間で、どんなことを頑張りと、どんなことができるようになりましたか？きっといろいろな思い出があることでしょう。

1年生の中には、入学したばかりの4月はとても不安そうで、悲しそうにしている人もいました。でも、今では、とっても元気に学校に来ることができるようになりましたね。

全校の皆さんの中には、勉強を一生懸命に頑張った人がいます。運動会で活躍した人もいますし、作品展や書き初め展では全員が素晴らしい作品を飾ることもできました。図画工作や運動を頑張って、表彰された人もいますね。

では、そうやって元気に登校し、いろいろなことができるようになったのは、どうしてでしょうか。

それは、その人自身、つまり皆さん一人一人が頑張ったからです。

でも、それだけですか？他に頑張った人はいないのでしょうか。【学年を問わず手が挙がり、「ここにいる全員」「友達」「仲間」と答えてくれました。】そうですね、友達や仲間のおかげもありますね。手伝ってくれた友達、声をかけてくれた友達もいるでしょう。そういう友達や仲間がいたから頑張ることができたのですね。

でも、それだけですか？【また、手が挙がり、「先生」という言葉がありました。】そうですね、先生も頑張りましたね。でも、それだけですか？【また、手が挙がり、「家族」という言葉がありました。】そうですね。おうちの方に毎朝起こしてもらった人もいます。朝ご飯を用意してもらったり、勉強道具を買ってもらったりした人もいます。そうやって、おうちの人も皆さんのために頑張ったのです。

さあ、これで全部ですか？もういませんか？【また、手が挙がり、「地域の方」という言葉がありました。】そうですね、地域の方には、ボランティアとしてお世話になりました。「おはなしたんぼぼ」の皆さん、ミシンボランティアの皆さん、学校探検ボランティアの皆さんなど、多くのボランティアの方のおかげで、皆さんは楽しく、気持ちよく過ごせましたね。

では、このように多くの方が皆さんのために頑張るのは、当たり前のことですか？やってもらって当然でしょうか。【子どもたちは、違うという意味で首を横に振っていました。】そうですね、当たり前のことではないですよ。

当たり前ではない、このことを難しい言い方でこう言います。紙に書いたので、見てください。「有り難い」「ありがたい」と読みます。あるのが難しい、つまり、当たり前ではないという意味です。ここから、感謝を伝える言葉ができました。どんな言葉か分かりますか？【何人もが手を挙げました。その内の一人を指名すると「ありがとう」と元気よく答えてくれました。】そのとおり、ありがとうですね。

皆さんがこの一年、頑張ることができたのは、多くの人のおかげだということを忘れずに、それは当たり前ではないのだという気持ちを込めて、多くの人に「ありがとうございました。」と伝えましょう。

今日は、教室や廊下で、たくさんの「ありがとうございました」が聞こえることを願っています。

校長と子どもたちとの対話形式が一部にありましたので、上記のような文章にまとめさせていただきました。子どもたちが話をよく聞いているからこそ、【 】のような返事ができるのだと感心しました。

結びに、今年度の学校生活を無事終わることができたのは、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご支援のおかげであると心より感謝しております。また、本校のホームページにもよくアクセスしてくださりありがとうございました。新年度も高ヶ坂小学校をどうぞよろしく願いいたします。